

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 21 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県宮古市小山田四丁目1番30号
氏 名 小 山 田 電 業 株 式 会 社
代表取締役 小 野 寺 孝 司

電話番号 0 1 9 3 (6 2) 5 1 7 1

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	小山田電業株式会社
事 業 場 の 所 在 地	岩手県宮古市小山田四丁目1番30号
事 業 の 種 類	建設業（土木工事業、電気工事業）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日



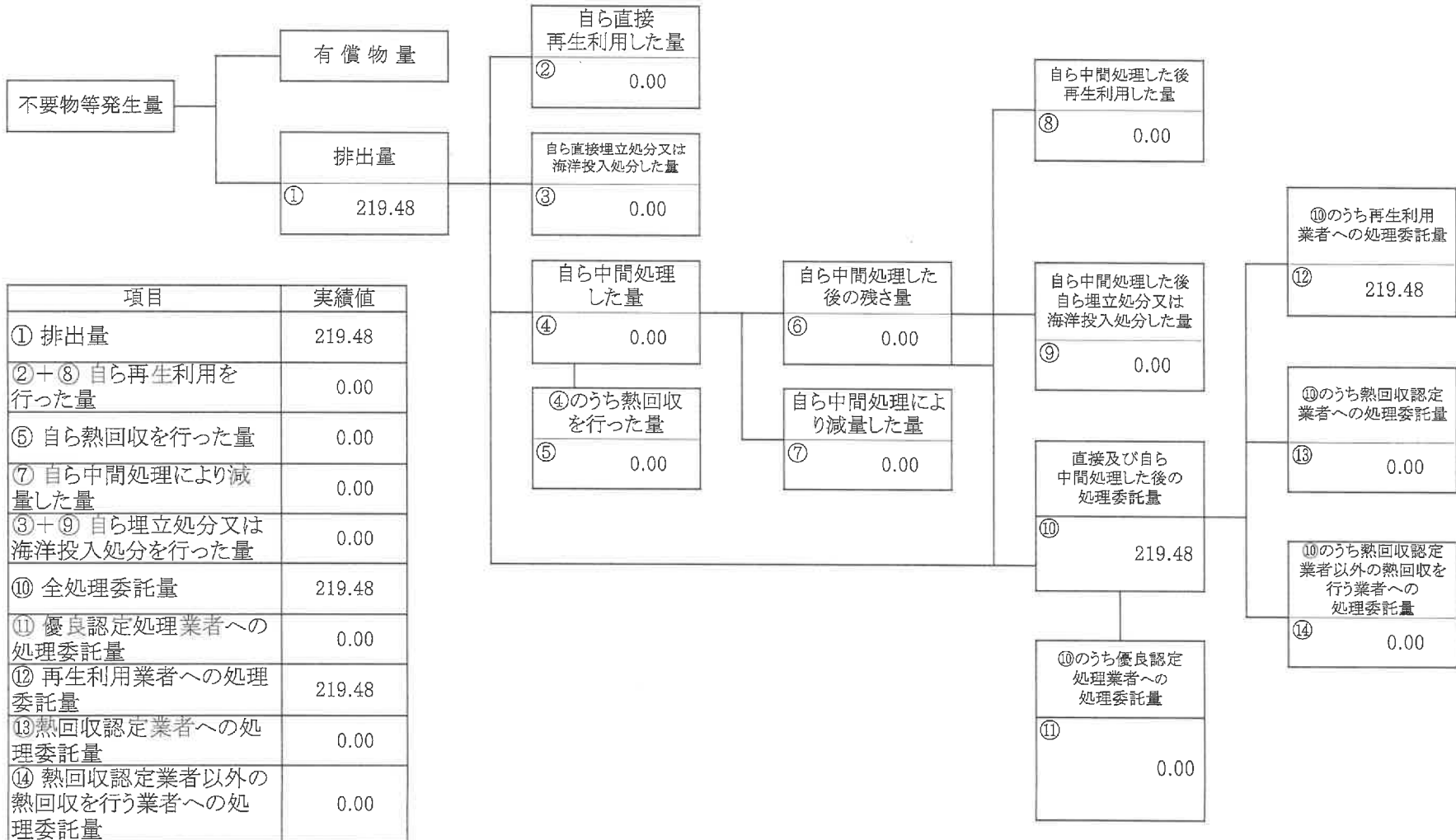
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	100 t	全 処 理 委 託 量	100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	100 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 全体)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

103.43

自ら直接
再生利用した量

②

0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0.00

自ら中間処理
した量

④

0.00

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

103.43

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

103.43

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収を
行う業者への
処理委託量

⑭

0.00

項目	実績値
① 排出量	103.43
②+⑧ 自ら再生利用を行なった量	0.00
⑤ 自ら熱回収を行なった量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0.00
⑩ 全処理委託量	103.43
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫ 再生利用業者への処理委託量	103.43
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

116.05

自ら直接
再生利用した量

②

0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0.00

自ら中間処理
した量

④

0.00

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

116.05

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

116.05

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の熱回収を
行う業者への
処理委託量

⑭

0.00

項目	実績値
① 排出量	116.05
②+⑧ 自ら再生利用を 行った量	0.00
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減 量した量	0.00
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩ 全処理委託量	116.05
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	116.05
⑬ 熱回収認定業者への処 理委託量	0.00
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00

(第2面)

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和5年度 産業廃棄物管理票交付内訳

産業廃棄物の種類	排出量	交付枚数	
がれき類	103.430 t	79 枚	
がれき類内訳			
工期			工事名
R05.07.01～R05.12.15	17.940 t	6 枚	佐原地区老朽配水管布設替工事（その2）
R05.07.29～R06.06.30	73.340 t	31 枚	市道末広町線電線共同溝整備（街灯その1）工事
上記2件工事小計	91.280 t	37 枚	がれき類全体の88.3%
その他小口工事分	12.150 t	42 枚	
木くず	116.050 t	80 枚	
木くず内訳			
工期			工事名
R05.03.30～R06.07.31	111.630 t	72 枚	明戸の沢4筋明戸地区砂防堰堤工事
上記1件工事小計	111.630 t	72 枚	木くず全体の96.2%
その他小口工事分	4.420 t	8 枚	
廃プラスチック類	10.854 t	34 枚	
廃プラスチック類内訳			
期間			排出事業所名
R05.04.01～R06.03.31	1.360 t	8 枚	本社
〃	1.284 t	4 枚	松山事業所
〃	1.400 t	3 枚	盛岡営業所
〃	3.220 t	4 枚	水沢営業所
上記4事業所小計	7.264 t	19 枚	廃プラスチック類全体の66.9%
その他小口工事分	3.590 t	15 枚	
金属くず	11.568 t	24 枚	
金属くず内訳			
工期			工事名
R05.03.31～R05.12.12	3.760 t	3 枚	一般国道340号横道トンネル照明設備更新工事
R05.06.30～R06.03.15	4.698 t	8 枚	R5年度滝沢市立小中学校校舎等LED化その1工事
R05.08.01～R06.03.15	1.940 t	6 枚	小友小学校校舎長寿命化改修1期（電気設備）工事
上記3件工事小計	10.398 t	17 枚	金属くず全体の89.9%
その他小口工事分	1.170 t	7 枚	
ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	0.780 t	9 枚	
紙くず	0.400 t	3 枚	
汚泥	0.055 t	2 枚	
廃石膏ボード	0.090 t	1 枚	
水銀使用製品産業廃棄物	0.304 t	12 枚	